

都市再生整備計画

たけとよちょうちゅうしんしがいちちく
武豊町中心市街地地区

あいちけん たけとよちょう
愛知県 武豊町

(当初)令和4年3月
(第1回変更)令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	武豊町	地区名	武豊町中心市街地地区	面積	178 ha
-------	-----	------	-----	-----	------------	----	--------

計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度
------	-------------------	------	-------------------

目標

- 町の玄関口である鉄道駅を中心とした賑わいと安全・安心のまちづくり
- ①知多武豊駅周辺の魅力を高めるとともに、駅を中心とした観光・交流施設とのアクセスを向上し、来訪者の回遊性を高める。
 - ②まちの駅、豆みそ・たまりの蔵元、寺社仏閣など地域資源を活かしながら、地区の賑わいを創出する。
 - ③地区住民の安全・安心につながる、災害に強いまちづくりを進める。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 武豊町は港と鉄道に古い歴史を持っており、明治19年に国鉄が開業して以来、港から資材輸送用の軌道が敷かれるなど、陸上・海上交通の要衝として発展してきた。
- 武豊町中心市街地地区は、名鉄知多武豊駅周辺からJR武豊駅周辺において、古くから商店街として賑わっていた。(知多武豊駅東地区)また、古くから歴史あるみそ蔵の街並みが立ち並んでおり(里中地区)、歴史的資源・商業・公共施設が集積している地区である。
- 現状は、道路整備の遅れや店舗の老朽化、消費者需要の多様化により、町の中心市街地としてのかつての求心力が低下している。
- 平成17~21年度にかけて旧まちづくり交付金を活用し中心市街地地区の散策路や案内板の整備など、地区の回遊性を高めるための整備を行った。
- 平成25年から町施行による知多武豊駅東地区における土地区画整理事業、平成29年から県施行による都市計画道路事業など駅周辺の道路整備を進めている。
- 知多武豊駅東土地区画整理事業では、新たに駅前町有地を設け、その利活用について商店街店主、区画整理事業地権者、その他の住民らによるワークショップにて検討を行った。
- 駅前町有地については、暫定的な利活用を行いながら、整備手法について検討を進めている。
- 賑わい創出に向けた様々な取り組みを検討・実施しているものの、平成27年度に実施した町民意識調査において、駅周辺地域のイメージとして「活気がない」や「店舗などが少ない」という意見がみられた。また、災害対策についての満足度について、里中地区を含む衣浦小学校区の満足度が他校区より低い結果となり、隣接する武豊小学校区(本計画区域は衣浦小学校と武豊小学校区にまたがる)と合わせても、全体平均を下回る結果となった。
- 平成28年に里中地区へ地域振興と産業・観光の拠点施設として武豊町地域交流センター、地元特産物の販売・飲食店が入るまちの駅を開店し、地区の賑わい創出の土台作りを行った。また、令和4年度に武豊町地域交流センター・まちの駅味の蔵たけとよの隣接地に屋内温水プールが開業予定であり、地域のさらなる賑わいが期待されるため、本地区において重点的なまちづくりが必要である。

課題

- ①知多武豊駅周辺の魅力を高めるとともに、駅を中心とした観光・交流施設とのアクセスを向上し、来訪者の回遊性を高める。
 - ・まちの顔である名鉄知多武豊駅周辺地区について、土地区画整理事業によるインフラ整備のほか、まちの玄関口として特色のある地区の整備が必要である。
 - ・土地区画整理事業により生み出される駅前町有地への拠点施設の整備を行い、民間活力の導入を含めた施設運営と継続的な賑わい創出のしくみづくりが必要である。
- ②まちの駅、豆みそ・たまりの蔵元、寺社仏閣など地域資源を活かしながら、地区の賑わいを創出する。
 - ・豆みそ・たまり等の地場産品、みそ蔵のある黒板塚のまちなみ、鉄道文化施設、図書館や歴史民俗資料館などの文教施設、寺社仏閣・庄屋住宅などの地域資源や、商店街組織によるまつり、地域の祭礼などと連携したまちづくりを行うとともに、町内外からの来訪頻度を高めるため、名鉄、JR両鉄道駅の利便性を高め、駅を基点とした回遊性の高い魅力のあるまちづくりが必要である。
- ③地区住民の安全・安心につながる、災害に強いまちづくりを進める。
 - ・将来、発生する可能性の高い大地震に備え、迅速な防災・避難活動が行える環境を整えることによる安全・安心なまちづくりが必要である。

将来ビジョン(中長期)

- ①第6次武豊町総合計画及び都市計画マスタープランにおいて、名鉄知多武豊駅とJR武豊駅の2つの駅をつなぐ一帯は「都市拠点」として位置づけられており、まちの中心として商業・サービス・住居などの機能を整え、住民や来訪者に魅力ある拠点の形成が求められている。
- ②地域交流施設周辺は「観光交流拠点」として位置づけられており、町並み景観の保全とともに、まちづくりに活かすことが求められている。
- ③総合計画の都市づくりの目標として、「便利で暮らし続けられる持続可能な都市づくり」、「活力・にぎわいを創出する都市づくり」とともに、「安全・安心な都市づくり」が掲げられており、大規模な災害が懸念される中であっても、防災・減災対策などが図られ、安全で安心して暮らせる都市づくりが求められている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
①駅周辺地域への来訪頻度	%	町民意識調査における「駅周辺地域への来訪頻度」での、「週1日以上」(「週5日以上」+「週1~4日程度」)とする町民の割合	町全体の来訪頻度を地区別で最も頻度の高い衣浦小学校区の割合まで高める。	22.5	令和3年度 (2021年度)	31.9	令和8年度 (2026年度)
②まちの駅「味の蔵たけとよ」の年間購買客数	人/年	第6次武豊町総合計画における成果指標(令和7年: 100,000人、令和12年: 105,000人)から当該年の購買客数を推計	里中地区の賑わい創出により、まちの駅 味の蔵たけとよでの買い物客数の増加をめざす。	101,556	令和2年度 (2020年度) ※2	110,000	令和8年度 (2026年度)
③災害への備えや日常生活の安全性に関する満足度	%	町民意識調査における「災害への備えや日常生活の安全性が確保されている」での「満足」+「やや満足」の割合(武豊小学校区と衣浦小学校区の合算)を過年度実績(H25、H27、H29、H30)から推計	災害時の迅速な避難活動に資する防災施設などを整備し、地区(武豊小学校区と衣浦小学校区)住民のまちの安全・安心に関する満足度を町全体の割合まで高める。	28.6	令和3年度 (2021年度)	36.2	令和8年度 (2026年度)

※2 令和3年度の値はR4年度中集計予定

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【①知多武豊駅周辺の魅力を高めるとともに、駅を中心とした観光・交流施設とのアクセスを向上し、来訪者の回遊性を高める。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄知多武豊駅周辺を「まちの顔」と位置づけ、JR武豊駅と結ぶみゆき通り(都市計画道路武豊港線)をまちのシンボルロードとして整備し、駅前広場やアクセス道路(区画道路14-1号)、1号公園などによりにぎわい創出を図りながら、駅利用者の利便性を高める。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(1号公園) ・地域生活基盤施設(デジタル情報板) ・地域生活基盤施設(駐輪場) ・高質空間形成施設(駅前広場シェルター) ・高質空間形成施設(照明灯) ・高質空間形成施設(歩道舗装) <p>■提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査(事業効果分析)
<p>【②まちの駅、豆みそ・たまりの蔵元、寺社仏閣など地域資源を活かしながら、地区の賑わいを創出する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちに点在する歴史文化的地物や伝統産業、交流施設などの地域資源を活用するとともに、回遊性を高めた歩行空間や案内板を整備するとともに、地域の魅力を新たに発見することで、地域の活性化を図る。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(散策路案内サイン) ・地域生活基盤施設(旧引込線解説パネル) ・地域生活基盤施設(里中地区道標) <p>■提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査(事業効果分析) ・まちづくり活動推進事業(散策路マップ作成) ・まちづくり活動推進事業(まちなか探検(体験)イベント開催)
<p>【③地区住民の安全・安心につながる、災害に強いまちづくりを進める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震などの発生時に迅速な対応や避難活動が行えるよう、耐震性貯水槽などの地域防災施設を整備することにより、災害に強い安全・安心なまちを創出する。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(地域防災施設(マンホールトイレ)) ・地域生活基盤施設(地域防災施設(耐震性貯水槽)) <p>■提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査(事業効果分析)
<p>その他</p>	

武豊町中心市街地地区(愛知県知多郡武豊町)	面積	178 ha	区域	長尾山、高野前、金下、堀割、明神戸、道仙田、後畑、里中、忠白田、大屋敷、熊野、田崎、西田崎、川脇、後田、平海道の各全部、迎戸、瀬木、道崎、西門、小迎、ヒジリ田、上ゲ、下門、沢田新田、前畑、山起、北新田、道崎田、土穴、一号地、山ノ神、中根、向陽の各一部
-----------------------	----	--------	----	---

